



# サーバ検出、ラックグループ、およびラックアカウントの管理

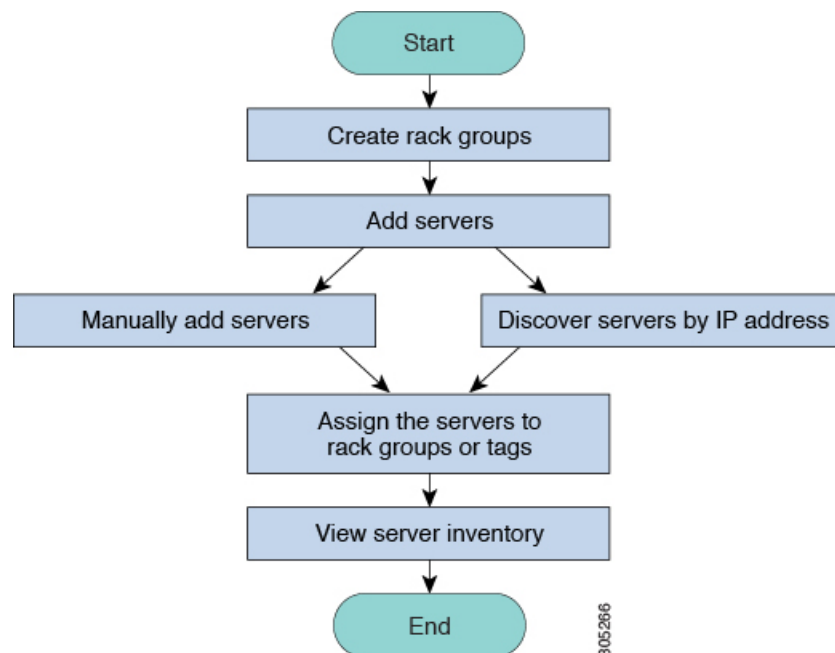
---

この章は、次の内容で構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [サーバの検出およびインポート \(2 ページ\)](#)
- [ラックグループの追加 \(7 ページ\)](#)
- [ラックアカウントの追加 \(8 ページ\)](#)
- [ラックアカウントまたはラックグループのインベントリの収集 \(10 ページ\)](#)
- [ラックグループへのラックアカウントの割り当て \(11 ページ\)](#)
- [アカウント接続のテスト \(11 ページ\)](#)

## 概要

次の図は、Cisco IMC Supervisorでのグループの管理、ラックアカウントおよびサーバ検出のワークフローを示します。理想的には、ラックグループを作成し、サーバをこれらのラックグループに追加します。手動でのサーバの追加、またはサーバの検出ができます。これらのサーバの詳細インベントリを確認できます。



**使用例：**初めて Cisco IMC Supervisor をインストールする場合は、何も事前設定されていないため、環境をセットアップする必要があります。管理に必要なシステムが世界中で何百もある可能性があります。これらのサーバを Cisco IMC Supervisor に導入するには、手動で追加するか、またはIPアドレスによって検出します。その前に、組織の要件に基づいて、これらのサーバの論理的なフィルタリングとタギングについて検討できます。たとえば、サーバを地域、建物番号、オペレーティングシステムなどでグループ化できます。タグ管理によって、Cisco IMC Supervisor に導入されるサーバをより細かくグループ化できます。たとえば、Windows、Linux などを含むサーバにタグを追加して、オペレーティングシステムのラックグループ下でサーバをグループ化できます。また、既存のサーバにタグをオンザフライで追加する柔軟性もあります。

ラックグループまたはタグに名前を付ける決まった方法はありません。必要に合わせて自由に名前を決めることができます。ラックグループおよびタグの名前は入れ替えることができます。たとえば、Windows、Linux などという名前前のラックグループがある場合に、オペレーティングシステムのタグ名の下にそのグループをタグ付けできます。

## サーバの検出およびインポート

ラックマウントサーバを自動的に検出して Cisco IMC Supervisor にインポートできます。次の項では、自動検出プロファイルの設定、自動検出の実行、および自動検出されたサーバのインポートなどのトピックについて取り上げます。

### 自動検出プロファイルの設定

Cisco IMC Supervisor がデバイスを検出するための基盤となる自動検出プロファイルを設定する必要があります。Cisco IMC Supervisor に設定できるプロファイル数に制限はありません。

自動検出プロファイルを追加または編集する場合は、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。

**ステップ 2** [Discovery Profiles (検出プロファイル)] をクリックします。

**ステップ 3** [Add] をクリックします。

**ステップ 4** [Add Discovery Profile (検出プロファイルの追加)] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Profile Name] フィールド	プロファイルの記述名。
[Search Criteria] ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから [IP Address Range]、[Subnet Mask Range]、[IP Address CSV File]、または [IP Address List] を選択します。
[Starting IP] フィールド	有効な IP アドレス
[Ending IP] フィールド	有効な IP アドレス
[Use Credential Policy] チェックボックスがオンの場合	
[Credential Policy] ドロップダウンリスト	ポリシーをドロップダウンリストから選択するか、[+] アイコンをクリックして新しいポリシーを作成します。新しいポリシーの作成については、 <a href="#">クレデンシャルポリシーの作成</a> を参照してください。
[Use Credential Policy] チェックボックスがオフの場合	
[User Name] フィールド	サーバのログイン名。
[Password] フィールド	サーバのログインパスワード <b>重要</b> パスワードには+などの特殊文字を使用しないでください。
[Protocol] ドロップダウンリスト	リストから [https] または [http] を選択します。
[Port] フィールド	ポート番号を入力します。

フィールド	説明
<p>以下のフィールドは、[Search Criteria] で [IP Address Range]、[Subnet Mask Range]、および [IP Address List] を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>(注) [IP Address CSV File] を選択した場合、これらのフィールドは CSV ファイルに次の形式で指定できます。サンプルの csv ファイルは、[File Template] をクリックすると使用できます。見出しなしで csv ファイルの最初の行からエントリを追加する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;ip&gt;</li> <li>• (オプション) &lt;description&gt;</li> <li>• (オプション) &lt;location&gt;</li> <li>• (オプション) &lt;contact&gt;</li> <li>• (オプション) &lt;rack group&gt;</li> <li>• (オプション) &lt;tag name:tag value&gt;;&lt;tag name:tag value&gt;</li> </ul> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Rack Group と Tags には、既存の値または新しい値を指定できます。これらのフィールドの指定は任意です。CSV ファイルに Rack Group の値を指定しない場合、Default Group が使用されます。</li> <li>• 現在の Cisco IMC Supervisor バージョンにアップグレードする場合は、既存の csv ファイルを、[Select a File] オプションを使用して新しい形式で作成した csv ファイルに置き換えます。</li> <li>• タグのタイプは <b>STRING</b> タイプのみです。</li> </ul>	
[Description] フィールド	サーバの説明を入力します。
[Contact] フィールド	サーバの連絡先の詳細を入力します。
[Location] フィールド	サーバのアドレスを入力します。
[Select Rack Group] ドロップダウンリストまたは [+] アイコン	ラックグループを選択するか、ラックグループを作成します。

#### ステップ 5 [Submit] をクリックします。

- (注) また、プロファイルを変更、削除、表示することもできます。これらのタスクを実行するには、[Edit]、[Clear]、[Delete]、または [View] をクリックします。

## 自動検出の実行

システムでラックマウントサーバを自動的に検出して Cisco IMC Supervisor にインポートする場合は、次の手順を実行します。

### 始める前に

Cisco IMC Supervisor がデバイスを検出するための基盤となるプロファイルを設定する必要があります。

### 手順

- ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。
- ステップ 2 [Discover Devices] をクリックします。
- ステップ 3 [Discover] をクリックします。
- ステップ 4 [Discover Devices] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Profile] ドロップダウン リスト	[Select] をクリックして検出するプロファイルを選択します。検出するすべてのプロファイルのチェックボックスをオンにします。
[Schedule Later] チェックボックス	このチェックボックスをオンにして、後でサーバを自動検出するための既存のスケジュールを選択するか、または[+]をクリックして新しいスケジュールを作成します。スケジュール作成の詳細については、 <a href="#">スケジュールの作成</a> を参照してください。[Policies] > [Manage Schedules] の順に移動して、スケジュールを選択し、[View Scheduled Tasks] をクリックしてスケジュールされたタスクを表示するか、または [Remove Scheduled Tasks] をクリックしてスケジュールされたタスクを削除できます。
[Schedule(s)] ドロップダウン リスト	[Schedule Later] チェックボックスを選択した場合、作成したスケジュールをドロップダウンリストから選択できます。  (注) また、このダイアログボックスから新しいスケジュールを作成することもできます。

- ステップ 5 [送信 (Submit) ] をクリックします。

## サーバのインポート

自動検出を使用してサーバをインポートする場合は、次の手順を実行します。

### 始める前に

- Cisco IMC Supervisor がデバイスを検出するための基盤となるプロファイルを設定する必要があります。
- すでに自動検出を実行済みです。

### 手順

**ステップ 1** [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。

**ステップ 2** [Discover Devices] をクリックします。

**ステップ 3** [Import] をクリックします。

**ステップ 4** **Import Discovered Devices (検出されたデバイスのインポート)** ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Device(s)] フィールド	[Select] をクリックしてインポートするデバイスを選択します。インポートするすべてのサーバのチェックボックスをオンにします。  (注) 特定のラックアカウントの <b>インポートステータス</b> がインポートされると、ステータスがインポートされ、そのラックアカウントはインポート用に表示されません。
[User Prefix]	ユーザのプレフィックスを入力します。

**ステップ 5** [送信 (Submit) ] をクリックします。

- (注) 前のインポートプロセスが完了するのを待つことなく、検出されたデバイスを複数回インポートすることができます。

## 検出されたデバイスのプロパティの設定

検出されたデバイスのプロパティを設定する場合は、次の手順を実行します。

### 始める前に

Cisco IMC Supervisor がデバイスを検出するための基盤となるプロファイルを設定する必要があります。

### 手順

- ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。
- ステップ 2 [Discover Devices] をクリックします。
- ステップ 3 [Discovered Devices] テーブルでデバイスを選択します。
- ステップ 4 [Set Properties] をクリックします。
- ステップ 5 [Set Properties (プロパティの設定)] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Description] フィールド	サーバの説明を入力します。
[Contact] フィールド	サーバの連絡先の詳細を入力します。
[Location] フィールド	サーバのアドレスを入力します。
[Select Rack Group] ドロップダウンリストまたは [+] アイコン	ラックグループを選択するか、ラックグループを作成します。

- ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。

## ラックグループの追加

新しいラックグループを Cisco IMC Supervisor に追加する場合は、次の手順を実行します。デフォルトでは、システム定義のグループ [Default Group] を使用できます。

### 始める前に

初めてログインする場合は、Cisco IMC Supervisor用にライセンスが更新されていることを確認します。ライセンスをアップグレードするには、[ライセンスの更新](#)を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。
- ステップ 2 [Add] をクリックします。
- ステップ 3 [Create Rack Group (ラックグループの作成)] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Group Name] フィールド	ラックグループの記述名。
[Description] フィールド	(任意) ラックグループの説明。

ステップ4 [作成 (Create) ]をクリックします。

### 次のタスク

ラックグループに1つ以上のラックアカウントを追加します。

## ラックアカウントの追加

作成済みの既存のラックグループにラックマウントサーバを追加することも、新しいラックグループを作成してラックマウントサーバを追加することもできます。アカウントを追加したら、Cisco IMC Supervisor を使用してそのサーバを管理することができます。

既存のラックグループに新しいラックマウントサーバを追加する場合は、次の手順を実行します。

### 始める前に

- 初めてログインする場合は、Cisco IMC Supervisor 用にライセンスがアップグレードされていることを確認します。ライセンスをアップグレードするには、[ライセンスの更新](#)を参照してください。
- ラックグループが存在することを確認します。



(注) システム提供のデフォルトグループまたは作成済みのラックグループの下にラックアカウントを追加できます。

- Cisco IMC Supervisor で XML API が有効になっていることを確認します。これによって、Cisco IMC Supervisor からラックマウントサーバを追加して管理できるようになります。

### 手順

ステップ1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。

ステップ2 [Rack Accounts (ラックアカウント)] をクリックします。

ステップ3 [Add] をクリックします。

ステップ4 [Create Account (アカウントの作成)] ページで、次のフィールドに入力します。



フィールド	説明
[アカウント名 (Account Name) ] フィールド	ラックアカウントの記述名。
[Server IP or Hostname (サーバ IP/ホスト名)] フィールド	ラックマウントサーバの IP アドレス、または Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバの仮想管理 IP アドレス。  (注) 完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはホスト名も入力できます。
[Description] フィールド	(オプション) ラックアカウントの説明。
[Use Credential Policy] チェックボックス	(オプション) すでにクレデンシャルポリシーを作成した場合は、このチェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストからポリシーを選択します。
[Use Credential Policy] チェックボックスがオンの場合	
[Credential Policy] ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストからポリシーを選択します。
[Use Credential Policy] チェックボックスがオフの場合	
[User Name] フィールド	ラックマウントサーバのログイン ID。
[Password] フィールド	ラックマウントサーバのログイン ID のパスワード。
[Protocol] ドロップダウンリスト	リストから [https] または [http] を選択します。
[Port] フィールド	選択したプロトコルに関連付けられたポート番号。
[Rack Group] ドロップダウンリストまたは [+] アイコン	リストからラックグループを選択するか、[+] をクリックしてラックグループを作成します。  ラックグループの作成の詳細については、 <a href="#">ラックグループの追加 (7 ページ)</a> を参照してください。
[Contact] フィールド	(オプション) アカウントの連絡先電子メールアドレス。
[Location] フィールド	(オプション) アカウントの場所。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

- (注)
- ラックアカウントを作成するための前のコマンドが完了するのを待つことなく、ラックアカウントを再び作成できます。
  - インベントリの編集、削除、収集、ラックサーバへのラックアカウントの割り当て、アカウント接続のテストを行うことができます。
  - 複数のラックアカウントを選択して削除することができます。インベントリ収集、障害ヘルス収集、ファームウェアアップグレード、ポリシーまたはプロファイルの適用、サーバ診断のタスクがアカウントのいずれかで実行されている場合は、アカウントを削除できません。

---

### 次のタスク

ラックサーバ接続をテストします。「[アカウント接続のテスト \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

## ラックアカウントまたはラックグループのインベントリの収集

ラックアカウントまたはラックグループのインベントリを収集するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

ラックアカウントまたはラックグループがラックアカウントの下にすでに作成されています。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。
  - ステップ 2 [Rack Accounts (ラックアカウント)] をクリックします。
  - ステップ 3 ラックアカウントのリストが表示されます。
  - ステップ 4 [Inventory] をクリックします。
  - ステップ 5 [Collect Inventory for Account(s) (アカウントのインベントリ収集)] ページで、[Rack Group (ラックグループ)] または [Rack Account (ラックアカウント)] を選択して、ドロップダウンリストからサーバを選択します。
  - ステップ 6 サーバを選択するには [Select] をクリックします。
  - ステップ 7 [Select] ダイアログボックスでサーバを選択して、[Select] をクリックします。

- (注) 選択対象となるラックグループまたはラックアカウントをフィルタに掛けるには、レポート上部にある検索バーを使用できます。

ステップ 8 [送信 (Submit) ] をクリックします。

---

## ラックグループへのラックアカウントの割り当て

ラックグループにサーバを割り当てるには、次の手順を実行します。

始める前に

[Rack Accounts] で、ラックアカウントまたはサーバを作成しておきます。

手順

---

ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。

ステップ 2 [Rack Accounts (ラックアカウント)] をクリックします。

ステップ 3 サーバの一覧が表示されます。

ステップ 4 1つ以上のサーバを選択して、[Assign Rack Group] をクリックします。

ステップ 5 [Assign Rack Groups (ラックグループの割り当て)] ページで、サーバを割り当てるラックグループを選択します。

(注) ラックグループを作成するには、[Assign Rack Group to selected server(s)] ドロップダウンリストの横にある [+] アイコンをクリックします。

ステップ 6 [送信 (Submit) ] をクリックします。

---

## アカウント接続のテスト

1つ以上のラックアカウントの接続をテストする場合は、次の手順を実行します。Cisco IMC Supervisor に追加されたすべての新しいアカウントに対して、この手順を実行することを推奨します。

手順

---

ステップ 1 [Systems] > [Physical Accounts] を選択します。

ステップ 2 [Rack Accounts (ラックアカウント)] をクリックします。

ステップ 3 ラックアカウントのリストから、接続をテストするアカウントを選択します。

ステップ 4 [Test Connection] をクリックします。

(注) リストから少なくとも1つのラックアカウントを選択するまで、[Test Connection] ボタンは表示されません。

**ステップ5** [Test Connection] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。

接続のテストには数分かかる場合があります。

接続ステータスと、成功または失敗の理由が [Rack Accounts] ページに表示されます。

---